

自平成 30 年 4 月 1 日  
至平成 31 年 3 月 31 日

## 平成 30 年度事業報告書

公益財団法人 MR 認定センター

# 平成 30 年度事業報告書

自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日

## 1.平成30年度事業の実施

平成30年度の事業は、平成30年3月22日に開催された公益財団法人MR認定センター第29回理事会において承認を得た「平成30年度事業計画」に基づき実施した。

## 2. 理事・監事・評議員

### 1) 評議員の選任

6月13日に開催された第13回評議員会において、任期満了に伴う評議員の選任を行い、9名のうち8名を再任した。

評議員の多田正世氏の任期満了による退任申し出に伴い、手代木功氏が選任された。

評議員鈴木邦彦氏の辞任申し出に対して、理事長高久史磨より評議員全員に提案書を発し、10月1日に書面決議がおこなわれた結果、長島公之氏が評議員として選任された。評議員の任期は、定款第16条により令和4年度定時評議員会の終結の時までとなる。

### 2) 理事及び監事の選任

6月13日に開催された第13回評議員会において、任期満了に伴う理事及び監事の選任を行い、理事9名のうち8名と監事全員を再任した。

理事の吉田逸郎氏の任期満了による退任申し出に伴い、澤井光郎氏が選任された。理事の任期は、定款第33条により令和2年度定時評議員会の終結の時までとなる。

### 3) 理事会及び評議員会の開催

#### (1) 理事会

第30回 5月28日(月) 於:「東京會館 LEVEL XXI」オリオンルーム

- ① 特定費用準備資金等の積立てを承認した。
- ② 平成29年度事業報告書(案)及び決算報告書(案)を承認した。
- ③ 第13回評議員会の招集を決定した。
- ④ 代表理事、業務執行理事より職務の執行状況について報告した。

第31回 6月26日(火) (定款第45条の規定による決議の省略の方法により決議)

- ① 代表理事(理事長)に高久史磨理事を選定した。
- ② 業務執行理事(専務理事)に佐藤和人理事を選定した。

第32回 9月7日(金) (定款第45条の規定による決議の省略の方法により決議)

- ① 第14回臨時評議員会の招集を決議した。

第33回 2019年1月16日(水) 於:「東京會館 LEVEL XXI」オリオンルーム

- ① 第25回MR認定試験の結果を承認した。
- ② MR認定センター事業構造改革検討会議の設置を報告した。
- ③ 平成31年度事業方針(案)について報告した。
- ④ 代表理事、業務執行理事より職務の執行状況について報告した。

第34回 2019年3月25日(月) 於:「東京會館 LEVEL XXI」オリオンルーム

- ① 事業構造改革検討会議の検討結果について承認した。
- ② 平成31年度事業計画(案)について承認した。
- ③ 平成31年度収支予算(案)について承認した。
- ④ 定款の変更について承認した。
- ⑤ 第15回臨時評議員会の招集を決定した。

## (2) 評議員会

第13回 6月13日(水) 於:「東京會館 LEVEL XXI」ゴールドルーム

- ① 任期満了に伴う評議員の選任(案)について承認した。
- ② 任期満了に伴う役員を選任(案)について承認した。
- ③ 平成29年度決算報告書(案)を承認した。
- ④ 平成29年度事業報告書について報告した。
- ⑤ 平成30年度事業計画について報告した。
- ⑥ 平成30年度収支予算について報告した。

第14回 10月1日(月)(定款第25条の規定による決議の省略の方法により決議)

- ① 評議員鈴木邦彦氏の辞任申し出により、長島公之氏を選任した。

第15回 3月29日(金)(定款第25条の規定による決議の省略の方法により決議)

- ① 定款の変更を承認した。

## 3. MR認定試験の実施及び認定に関する事業(定款第4条第1号関係)

### 1) 第25回MR認定試験の実施

(1) 試験実施のため、人材派遣会社社員総計195名に試験監督員を委嘱し、これら監督員に試験当日の会場設営と当日の試験監督を依頼した。

- ① 試験日時 12月9日(日)午前9時30分より午後3時50分まで
- ② 試験地 東京、大阪の2地区2会場  
(学習院大学、大阪工業大学大宮校を借用)
- ③ 受験者数

	人数
--	----

新規受験者	2,018名
再受験者	521名
受験者計	2,539名
受験申請者数	2,576名

なお、新規受験者は、平成30年度導入教育修了者が中心であり、昨年より419名減少した。

## (2) 試験委員会の開催

第29回運営委員会 9月19日

・第25回MR認定試験問題等について検討した。

第36回試験委員会 5月30日

・第25回MR認定試験の作問要領の確認及び提出期限の確認を行った。

第37回試験委員会 2019年1月15日

・第25回MR認定試験受験者に対する合否についての判定を行った。

## (3) 合否の判定

2019年1月16日開催の第33回理事会で承認を受けた後、1月30日付で受験者に試験結果を通知した。

	合格者数	合格率
新規受験者	1,694名	83.9%
再受験者	233名	44.7%
合計	1,927名	75.9%

## (4) 合格基準の公表

合格基準点及び配点並びに正答を公表した。

## 2) 第26回MR認定試験の準備

第26回試験は2019年12月8日とし、実施に向けて準備に入った。

(1) 第26回試験受験案内を2019年3月27日付で各企業に通知した。

(2) 試験会場として学習院大学、大阪工業大学、立命館大学から借用の内諾を得た。

## 3) MR認定証の発行及び管理

(1) 第25回MR認定試験合格者への認定証は、申請のあった337名に対し、2019年3月31日までに順次発送した。

また、企業の合併やMRの企業間移動及び認定証の棄損・亡失などの理由により再交付した認定証は、168枚であった。

(2) 不合格者に対しては、再受験科目の管理を行った。

#### 4) MR認定証の更新手続き

MR認定証の有効期限が2019年1月末日の者を主な対象とし、認定更新を行った。

##### (1) MR認定証の更新と管理

- ① 20,674名のMRから認定更新の申請があり認定した。
- ② MR認定証の更新には5年間の教育研修修了認定が必須のため、MR認定証更新に関する認定研修のデータを具備した「MR教育・試験管理システム(以下「MRO」という。)」を運用し管理した。

##### (2) MR認定証更新に伴う補完教育

- ① 補完教育は、IT(パソコン)方式で実施した。
- ② 2018年度補完教育の受講状況(2019年3月31日現在)  
対象者は、MR認定証の有効期限が2019年1月末日であり、更新に必要な認定研修を充足できず認定証の更新を希望する者。

申込数	3,620名(企業3,127名 個人493名)
受講者登録数	3,551名(ID・パスワード発行者数)
未受講者数	147名
受講中者数	152名
合格者数	3,190名
不合格者数	62名(期限内未修了53名・合格基準未達者9名)

- ③ 長崎国際大学薬学部にて作問を二次委託し、50問の委託をしてこれを受領した。

#### 5) MRの資質向上等に関する調査研究事業

##### 調査活動

##### (1) MRの実態及び教育研修の現状に関する調査

センターに登録している製薬企業192社とCSO17社、卸1社に対し2018年3月31日時点でのMRの実態及び教育研修の現状についてアンケート調査を行い、「MR白書」(2018年版)としてとりまとめた。

7月25日に厚生労働省、日本製薬工業協会をはじめとする関係各所、及びセンター登録210社に「MR白書」(2018年版)を発送した。

- (2) 医療機関を訪問し医療従事者と面談してMR活動の現状を聞き取り調査した。またMRとの同行によりMRを取り巻く環境の把握とMR活動の実際を調査した。

#### 4. MRに対する教育研修に関する事業(定款第4条第2号関係)

##### 1) 教育研修委員会

第49回委員会(9月11日開催)

- (1) 2017年度認定状況及び改善指導
- (2) 2017年度補完教育実施報告
- (3) 2017年度教育研修施設の受託教育に関する報告
- (4) 2018年度版MR白書について
- (5) 第25回MR認定試験について

(6) 継続教育検討委員会の活動状況

(7) MRテキストの電子化について

第50回委員会(2019年3月12日開催)

(1) MR認定センターの事業構造改革について

(2) 第25回MR認定試験結果の報告

(3) 2018年度補完教育の報告

(4) 教育研修制度改革検討委員会(仮称)の委員委嘱について

(5) 2019年度補完教育の実施について

(6) 教育研修管理者認定更新講習会の規程改正について

(7) 教育研修施設の認定基準の検討

## 2) 継続教育検討委員会の継続開催

2017年度に設置した継続教育検討委員会により提案された「MR継続教育の進め方手引き」及び「継続教育用資材」の制作にあたり、企業委員が引き続き検討した。

### (1) 委員

氏名	所 属
川野 明弘	アステラス製薬(株)営業人材開発部 グループリーダー
青木 広治	MSD(株)プライマリケア埼玉・千葉営業部 埼玉北営業所長
眞鍋 良弘	武田薬品工業(株)営業教育部 東日本適正情報推進室
水野 正巳	第一三共(株)研修情報部 グループ長
小島 章利	大日本住友製薬(株)神戸支店 神戸第1営業所
太田 順子	ダイヤモンドシステムコンサルティング(株)代表取締役
坂崎 仁紀	イーエヌメディックス(株)代表取締役

### (2) 実施回数

1回2時間(17:00~19:00)、全10回開催

### (3) 成果物

当委員会で「MR継続教育の進め方手引き」を作成し、企業向けに無償頒布し、センターHPにて公開した。「継続教育用資材」については、基本コンセプトについて検討し、2019年10月に完成する予定。

## 3) 教育研修システムの運用

### (1) 教育研修に関する認定

MROを運用し、教育研修履修の認定を行った。

- ① 教育研修計画書及び実施報告書の企業からの申請に基づき審査を行い、各MRの教育研修履修認定を行った。

	企業数	申請教育研修数	教育研修対象者数
導入教育計画認定	114社	177件	2,001名

同実施報告認定	114社	177件	1,921名
継続教育計画認定	206社	1,054件	82,238名
同実施報告認定	206社	1,045件	72,827名

- ② 新規に教育研修を開始する企業からの申請に基づき、教育研修システムの認定を2社行った。一方、業務廃止・企業合併に伴い8社の登録を抹消した。登録企業数は、205社である。
- ③ 新規に教育研修施設認定を3社行った。現在の認定企業は15社である。
- ④ 計画書の遅延や申請を失念した企業に対して「教育研修認定に関する指導基準」に基づき、改善指導を行った。

・注意 13件

内容:おもに2017年度計画申請及び実施報告の失念と完了区分の誤操作。  
措置:口頭にて注意し、一部は顛末書の提出を求めて注意を促した。

・指導 7件

内容:同一年度内の複数回改善指導及び3年以上の大幅な遅延。  
措置:対象者の履修証明記録、顛末書の提出を求め、教育研修に関する管理体制を見直し、再構築するよう指導した。

(2)各企業からの教育研修に関する相談について、助言・指導を行った。

#### 4)教育研修管理者講習会の開催

##### (1)教育研修管理者認定講習会

各企業に教育研修管理者1名の登録(複数名の登録も可)を義務付けており、新たに教育研修管理者となる者のための講習会を行った。

##### ① 教育研修管理者認定講習会の実施及び認定状況

(会場) 2018年4月及び7月開催:東京薬事協会・会議室  
2019年1月開催 :野村コンファレンスセンター

(内容) MR認定センター職員による教育研修要綱等の解説

(実施及び認定状況)

開催日	教育研修 管理者予定者数	再試問 対象者数	教育研修 管理者認定者数
4月 4日(水)	29名(14名)	1名	28名
7月25日(水)	34名(18名)	0名	34名
2019年1月23日(水)	55名(42名)	0名	55名
計	118名(74名)	1名	117名

( )内は、複数登録の教育研修管理者数

##### ② 試問

イ. 実施方法 CBT(Webを使ったテスト)

ロ. 出題形式及び判定基準

問題	判定
----	----

正誤	70問	正答率90%以上で合格とし、合格するまで実施
3択	10問	
小論文	1問	4段階評価(A B C D)を行い、D評価は不合格とする

(2) 教育研修管理者認定更新講習会

教育研修管理者は、1年毎の認定更新を必要とする。東京と大阪の2会場に分けて開催した。

① 開催日及び場所

10月16日(火) 東京:東京コンファレンスセンター・品川

10月18日(木) 大阪:メルパルク大阪

② プログラム

13:00～13:05	開会挨拶 専務理事 佐藤 和人
13:05～13:35	第25回MR認定試験について 試験事業部長 若桑 秀司
13:35～14:00	MRO操作と2018年度補完教育について 教育研修部長 友石 和登
14:00～14:30	継続教育検討委員会の推進状況報告 MRテキストの電子化の検討について 事務局長 近澤 洋平
14:50～15:20	MRの現状と課題 企画部長 行入 正彦
15:40～16:40	特別講演 「販売情報提供活動に関するGLを視野に入れた MR活動のあり方」 【演者】日本製薬工業協会 常務理事 田中 徳雄 様
16:40～16:50	連絡事項

③ 受講者数

	東京	大阪
管理者	252名	86名
オブザーバー	32名	10名
合計	284名	96名

5) インストラクター支援講習会の開催

(1) インストラクションスキル研修会

① 開催内容

会場	東京(アイビーホール)
日程	5月24日(木)～25日(金)



	6月 7日(木)～ 8日(金)
	2019年2月14日(木)～15日(金)
対象	インストラクター経験の浅い(1年以内)MR研修担当者
講師	アドット・コミュニケーション(株) 戸田久実氏
内容	インストラクターの基本スキルとマインドを学ぶ

② 参加者

企業数	参加者数
25社	46名

(2)MRに対するマナー指導者セミナー

① 開催内容

会場	東京(アイビーホール)
日程	2019年3月15日(金)
対象	導入教育の担当者
講師	アドットコミュニケーション(株) 戸田久実氏
内容	MRに求められる基本的なマナー(身だしなみ、言葉づかい)を指導できるようにする

② 参加者

企業数	参加者数
15社	16名

(3)ファシリテーション研修会

① 開催内容

会場	東京(アイビーホール)	
日程	7月13日(金)	2019年1月18日(金)
対象	研修会を効果的に進めたいインストラクター	
講師	PHP研究所 今村恵理氏	
内容	研修ファシリテーションスキルを修得し、効果的な研修を実現する	

② 参加者

企業数	参加者数
23社	36名

(4)教育デザインセミナー

① 開催内容

会場	東京(アイビーホール)
日程	6月22日(金) 11月16日(金)

対象	新たにMR教育研修トレーナーになった者と教育について基礎から学びたい者。
講師	サンライトヒューマンTDMC(株)代表取締役社長 森田晃子氏
内容	トレーナー入門者が、効果的なMR教育についての基礎を学び、自社の教育に応用できるようになる

② 参加者

企業数	参加者数
26社	43名

(5) センターセミナー

① 開催日及び場所

9月8日(土) ザ・グランドホール品川

② プログラム

13:30～13:35	開会挨拶 専務理事 佐藤 和人
13:35～14:40	特別講演 ジェネリック医薬品について 日本ジェネリック製薬協会 理事長 伏見環
14:40～15:00	コーヒープレーク
15:00～16:30	特別講演 2018年度医療制度改正について 大日本住友製薬株式会社 渉外部オフィサー 御内直人
15:40～16:40	閉会挨拶 日本製薬工業協会 流通適正化委員会副委員長 竹安正顕

③ 参加者

企業数	参加者数
53社	85名

5. 出版物の頒布に関する事業(定款第4条第3号関係)

1) MRテキスト2018の頒布

(1) 頒布価格

書籍名	本体価格	税込み
MRテキスト2018 医薬品情報	2,700円	2,916円
MRテキスト2018 疾病と治療(基礎)	2,200円	2,376円
MRテキスト2018 疾病と治療(臨床)	3,400円	3,672円
MRテキスト2018 MR総論	3,700円	3,996円

(2) 頒布部数

書籍名	頒布部数
MRテキスト2018 医薬品情報	4,129部
MRテキスト2018 疾病と治療(基礎)	4,334部
MRテキスト2018 疾病と治療(臨床)	4,280部
MRテキスト2018 MR総論	4,497部

(3) 正誤表の作成と頒布

各テキストの内容について記述の誤りなどに対応し、正誤表2018年4月、正誤表2018年6月を作成し、センターHP上で無償頒布した。

(4) 追補の作成と頒布

各テキストの内容について法改正、制度改定などに対応し、追補2018年6月を作成し、センターHP上で無償頒布した。

(5) MRテキストの廃棄

現在は頒布していないMRテキスト2012の在庫を以下のとおり廃棄処分した。

- ・MRテキストⅡ 疾病と治療2012 基礎 7,446部
- ・MRテキストⅢ 医薬概論2012 2016年改訂 4,044部

2) その他の冊子の作成と頒布

- ・2018年版MR白書—MRの実態および教育研修の変動調査—
- ・「まんがMR物語 改訂版」
- ・「MRの果たすべき役割 改訂版」
- ・MR教育研修要綱解説書 2017年10月
- ・MRの資質向上を目指した継続教育の充実について 2018年2月
- ・MR教育研修・認定試験申請手順書 2018年3月
- ・MR継続教育進め方手引き 2019年3月

6. 広報事業(定款第4条第1号関係)

1) 第21回センターミーティングの開催

① 開催日及び場所:

2019年2月19日(火) 品川グランドホール

2019年2月22日(金) TKP大阪淀屋橋カンファレンスセンター

② プログラム

13:00～13:05	挨拶	専務理事 佐藤 和人
-------------	----	------------

13:05～13:35	センター中期計画の全体像 事務局長 近澤 洋平
13:35～13:50	第25回MR認定試験の結果と報告 MR認定試験制度の今後について 試験事業部長 若桑 秀司
13:50～14:25	効果的な教育研修を考える 教育研修部長 友石 和登
14:25～14:35	広報事業、調査事業について 企画部長 行入 正彦
14:35～14:55	休憩
14:55～15:45	継続教育用資材と継続教育の進め方手引きについて MRテキストの電子化について 消費税の変更に伴うセンターの対応について 事務局長 近澤 洋平
15:45～16:00	質疑応答 総合意見交換
16:00	閉会

④ 参加者

	企業数	参加者数
東京会場	131社	236名
大阪会場	37社	53名
合計	168社	289名

2) 大学での講義

4月～7月 日本薬科大学薬学部医療ビジネス薬科学科「MR概論」講義

3) 第28回日本医療薬学会に出展

11月23日(金)～25日(日)に開催された日本医療薬学会年会で、神戸国際会議場にてブース展示し、薬系大学教員・学生や医療関係者にMR職の紹介をした。

4) 第139回日本薬学会年会展に出展

2019年3月21日(木)～23日(土)に幕張メッセで開催された、日本薬学会第139年会展でブース展示し、薬系大学教員・学生や医療関係者にMR認定センターの事業やMRの職務などを紹介した。

5) 学会発表・講演等

- ・平成 30 年度第 1 回日本医薬品情報学会フォーラムにて講演 7 月 21 日(土)  
「GPSP省令の改正とMRによるPMS活動」

## 7. 委員会の開催

### 1) 試験委員会

(p3を参照)

### 2) 教育研修委員会

(p4を参照)

## 8. 設備投資等について

### 1) 特定費用準備資金の積立

#### (1) 認定試験事業

補完教育の実施及びMROの運用を目的として、特定費用準備資金を積み立てた。

#### (2) 教育研修事業

講習会の実施及びMROの運用を目的として、特定費用準備資金を積み立てた。

以上

## 平成30年度「事業報告の附属明細書」について

平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する“事業報告の内容を補足する重要な事項”が存在しないので附属明細書を作成しない。

以上